

- ・震災の話が一番刺さりました。

災害の話をするときにだいたい言われることが、「朝家の玄関を出て、また家族と会えるかは分からない」ってことがあって、今日もそれを言っていてこれまでの話で一番刺さりました。

- ・沖縄に去年修学旅行で訪れたのもあり、沖縄戦の話はかなり刺さりました。ガマの話など、実際に訪れたことがあるとやっぱり違うなと思いました。

- ・今までは、1人が投票しなくても変わらないと思ってたけど、シミュレーションをしたり、政治が平和の問題にも関わっていると分かったりして、たった1票でも自分の意見を伝えることができることがわかった！

- ・1票、1人の意見がどれだけ重要なのがよくわかった。震災やガザ、ウクライナの話などは、最近あまり聞かなくて遠くなっていたけど、今でも沢山の人が戦っていたりすることを再認識させられた。

- ・政治には、政治家など特別な人だけが関わっているのではなく、私たち一人ひとりが積極的に関わっていくものだと言った。将来の自分のためにも、今から意思を持って行動したいと思った。ニュースにももっと関心を持っていきたい。

- ・附属小学校の頃も三好さんの講演を聞かせていただいたことがありました！あの頃は僕の記憶の中では阪神・淡路大震災の話がメインでしたが、それから能登の地震とか自然災害以外にも社会情勢に大きな動きがあって、今回はそれについてさまざまなのを学ばせていただけて大変貴重な機会となりました。

- ・主権者教育と聞いてとても堅苦しいものだと思っていましたが、とてもためになる時間でした。政治と震災、戦争一つ一つは身近なはずなのにつなげて考えられなかったですが、今回お話を聞いてすごく考えられるようになりました。

・僕は沖縄も北海道も修学旅行の実行委員長で、沖縄戦とか北方領土の問題は気にすることが多く、今回の話でそれぞれ別々の問題・出来事のように見えるけど広島・長崎とも関連しているし、歴史的背景を見れば全て繋がっていると再認識し、民主主義のあり方にも繋がっていくと考えた。

・震災で亡くなる人よりも震災関連死の方の方が多かったことにすごく驚きました。自宅の備えが十分であることは大前提だと思うので、しっかり確認して我が家でも備える必要があると実感しました。

・18歳が近づいてきて、情報収集をしたり、投票に行ったりするのはなかなか面倒くさいなと思っていたけど、1票の価値や、訴えることの重要性を知り、少し手間がかかってもできるだけ投票に行こうと決意しました。

・選挙権をあと2年ほどで持つようになるので、そのときしっかり考えて投票できるように今からニュース等見て自分の考えを持っておこうと思った。

・例えがとてもわかりやすかった。能登地震でそんなにもたくさん地震後に直接ではない影響で人が死んでいるとは知らなかった。少しの社会の動きが選挙によって社会全体に働くのがすごいし自分も頑張りたいと思った。

・選挙に行きますよ～

・私たちが投票に行っても、そんなに意味がないと思ってたけど、投票をして誰か一人でも意見を発言することにより、自分達が思ってる政治に変わるかもしれないということが分かった。また、改めて震災の怖さを感じた。

・たった1票で変わるわけがない、と考えている人もいるけど、その1票の積み重ねで社会ができていくんだと実感しました。将来、投票に行こうと思えました。

- 投票行くのって大事だなあと思いました。

おばあちゃん描くのむずかったけど可愛く描けたのでよかったです。

- 震災、戦争、国際紛争の（意見が通るということを考える）悲惨な例を見て、そもそも民主主義がどの程度正解なのか？ 人間の限界とは？ 自分自身は、今年福島第1原発のあった場所に訪れ、帰還困難区域、町内に立ち入った。そこで見た光景も結びつけ、以上のことを考えることができる。

- 震災や戦争などいつ起きるか予測できないことがあるので、一日一日後悔のないように生きていたい。

- 震災や戦争はもう過去の事だけど風化させずに若い世代に伝えることが大切だなと感じた。そしてそれを新聞という形で行なっている方たちに感謝したいと思います。